



鶴小 ICT 通信

令和4年2月25日 第8号



SKYMENU Cloud

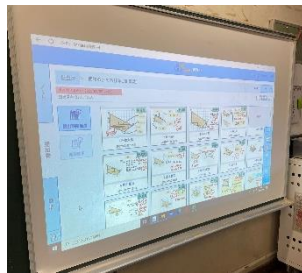
Active
Adaptive
Assistive

今年度も残り一ヶ月となりました。1人1台タブレット端末の貸与が始まった最初の一年も、間もなく終わろうとしています。当初は戸惑いが見られる場面も多ありましたが、今では多くの子供達が有意義に活用している様子を目にする機会が増えました。

ふじみ野市では、「SKYMENU Cloud」という学習活動端末支援 Web システムを導入しています。今号では、そのシステムに搭載されている機能を子供達がどのように活用しているかをご紹介します。

授業

さまざまな教科の学習に用いています。子供達の考えを学級全体に共有することができるので、多様な考えに触れながら、学習を進めることができました。Google Jamboard や Microsoft Teams、学習者用デジタル教科書等、他の教材とも関連されて活用することで、それぞれの特性を活かした学習につながられています。自分の取組や担任からの課題を提出することもできるので、テンポよく学習したり、振り返ったりすることもできました。



発表ノート

文章を書き込んだり、写真を貼り付けたりすることが容易なので、子供達が思い描くノートづくりができます。家庭学習にも使うことができるため、予習ノートを作成して授業で説明したり議論したりする反転学習にも活用しています。グループで一つのノートをつくることもできるので、協働的な学びにつながられました。



カメラ機能・フォルダ

カメラ機能を用いて動画や静止画を撮影して、あとで見返したり、教室で発表ノートにまとめたりします。撮影した写真がすぐに自分のフォルダに保存されるので、低学年の子供達も積極的に活用しています。一人ひとりのフォルダに、担任から学習課題を配付したり、グループワークでクラスの友達のファイルを共有したりすることもできます。



ポジショニング

子供達が、与えられた課題に対する自分の考え（立ち位置＝ポジショニング）を、マーカーを配置して示すことができます。考えの変化に応じて何度でもマーカーを再配置でき、その変容の過程が自動的に記録されるので、考えの「ゆらぎ」を可視化して振り返ることができます。自分や友達の心の動きや考えの変容を知ることにより、自身の深い学びにつながられています。

